

平成 30 年 6 月 4 日現在

機関番号：13301

研究種目：基盤研究(C) (一般)

研究期間：2015～2017

課題番号：15K02432

研究課題名(和文) 梁山伯祝英台伝説の文化空間 - 中国四大伝説の生成と伝播に関する包括的研究

研究課題名(英文) Cultural space of "Butterfly Lovers" :Comprehensive Study on the Formation and Diffusion of Chinese Four Folktales

研究代表者

上田 望 (UEDA, NOZOMU)

金沢大学・歴史言語文化学系・教授

研究者番号：90293331

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 1,800,000円

研究成果の概要(和文)：もともと南中国で流行し始めた地方色豊かな梁山伯、祝英台にまつわる伝説・物語が、千年以上の時間をかけて中国を代表する無形文化遺産へと昇格していく過程を解明するため、文献資料、映像・画像資料の体系的な収集と整理、作品の解説と考察、中国での梁祝故事の受容と民間信仰の実態調査を踏まえ、浙江省寧波で発生した物語が全国へ展開していった可能性が高いことを明らかにした。また、物語の主要な舞台が浙江であることから越劇の演目に取り上げられ、1940年代以降、映画作品としての流通し、メディアと権力両方からのバックアップを得て、中国の四大伝説へと変貌を遂げる過程を明らかにした。

研究成果の概要(英文)： In order to explicate the process of promoting the rural folklores concerning Liang Shan-bo and Zhu Ying-tai originally popularized in South China to the intangible cultural heritage representing China over a thousand years, Based on the systematic collection and organization of literature materials, video and image materials, consideration of works, acceptance of folktale of Liang Shan-bo and Zhu Ying-tai in China and general survey of folk religion, research revealed that original form of the folklore were considered to have been formed in Ningbo, Zhejiang province, and then has spread all over China. In addition, The analysis revealed the following: because the main stage of the story was Zhejiang province, it was also chosen as a subject matter for a Yue-ju(Shaoxing Opera), and since the 1940 's, it was made into a movie many times, became well-spread to China and Southeast Asia by gaining the support from politics and mass media , promoted to China 's Four Folktales in the end.

研究分野：中国文学

キーワード：中国文学 中国四大伝説 梁山伯祝英台 越劇 寧波

1. 研究開始当初の背景

梁山伯祝英台伝説は、牛郎織女(七夕)伝説・孟姜女伝説・白蛇伝説と並ぶ中国の四大伝説、乃至四大愛情物語の一つとされ、千七百年以上の歴史を持つ。また、2006年に中国の第一級無形文化遺産(民間文学)にも登録され、東方の「ロミオとジュリエット」の美称がある。しかしながらこの物語自体は日本では全くといっていいほど知名度がなく、研究としては、梁祝故事の発生地について考察した渡辺明次『梁山伯祝英台伝説の真実性を追う』(2006)と『梁祝口承伝説集』(2006)の単著があるほかは、各時代各地域の「梁祝故事」講唱芸能作品について考察した芳村弘道(2006)や岩田和子(2014)、トランスジェンダーの視点から浙江省の地方劇である越劇の梁山伯祝英台故事を分析した中山文(2010)、少数民族に伝承される梁祝故事を分析した手塚佳子(2013)など、先行研究は五指に満たない。

一方中国でも、梁祝故事研究は四大伝説の他の作品に比べてスポットが当たることが少なく、民俗調査の一環として、中華人民共和国建国後の早い段階で、路工編『梁祝故事説唱集』(1955) 銭南揚輯録『梁祝戲劇輯存』(1956)が作られた程度で、その後は長く研究不毛の時代が続いていた。しかし二十一世紀以降、中国でユネスコの無形文化遺産登録ブームが沸き起こり、中国各地で梁祝故事の調査と研究活動が活発に展開されるようになる。

中国での近年の研究動態は、1) 梁祝故事の発生地を巡る論争、2) 梁祝故事の中国における形成と伝播、3) 梁祝故事を演じる越劇や映画、テレビドラマ、交響曲などの二次創作をめぐる諸問題、に集約され、周静書『梁祝文化大観』(2000) 陳勤建主編『東方的羅密欧与朱麗葉(東方のロミオとジュリエット)』(2005)などの研究成果がその代表的なものである。ただこれらの研究では、無形文化遺産としての梁祝故事の採集などに重点が置かれ、通時的な視点からなぜ梁祝故事が中国を代表する物語に進化したのかという根元的な問題意識が不足しているように思われる。

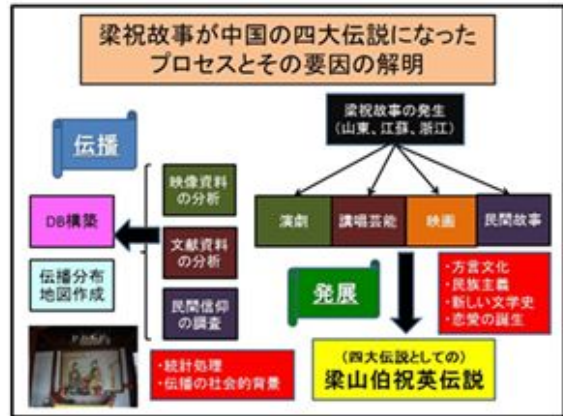
2. 研究の目的

上田は、科学研究費や金沢大学の連携融合事業「日中両国における無形文化遺産保護と新文化伝統創出に関する共同事業」(2007-2011)などによって、江蘇と浙江の両省において、十余年にわたり三十回を超える演劇や講唱芸能の現地調査をおこなってきている。そこでは、中国の他の省と異なり四大南戯と並んで梁祝故事の演目が極めて高頻度で上演されているのを目の当たりにしてきた。そしてその現実から、では「なぜ中国四大伝説の一つであるにも関わらず、梁祝故事は他の地域(特に北中国)に伝播しなかったのか」という疑問を抱き、そこで本研

究では、「南中国で流行した本来ローカルな梁祝故事が、後に中国を代表する物語(無形文化遺産)に昇格していくプロセスと理由を解明」することを研究の目的に設定した。

3. 研究の方法

本研究課題は、三年計画で梁祝故事が中国の四大伝説になっていくプロセスを解明するため、以下の4つのポイントに絞って研究を進める。



(1) 日本・中国での調査を通じて梁祝故事に関する文献・映像資料の体系的な収集と整理、テキストの電子化と基本情報のデータベース化を進める。

(2) 明代の『同窓記』から近代の越劇や映画など各種文芸ジャンルの文献・映像資料の読解分析、及び各作品の成立した社会的背景を踏まえた批判的検証と考察、翻訳作業を行う。

(3) 中国の7地点での現地調査による梁祝故事の受容と民間信仰の実態解明に取り組む。

(4) 上記各種データの統計処理を通して梁祝故事の伝播分布地図を作成し、故事の伝播地域を確定、可視化する。

4. 研究成果

梁山伯祝英台伝説は中国の四大伝説としてよく知られているが、本研究課題ではもともと南中国で流行し始めた地方色豊かな梁祝にまつわる伝説・物語が、千年以上の時間をかけて中国を代表する物語、そして無形文化遺産の一つへと昇格していくプロセスと理由を解明することを目的とし、それによって中国の従来文学史や演劇史、芸能史の研究に対して新たな知見を提示し、中国における「伝統」とされているものの本質を問いなおすとともに、中国の無形・有形の文化遺産の調査や保護、活用に関する問題提起にもつながる研究を志向していたが、以下に述べるように三年間の研究期間でほぼ所期の目的を達成することができたと考える。

(1) 文献資料の体系的な収集と整理

中国の中山大学古文献研究所、北京師範大学図書館、中国国家博物館図書館、日本の国会図書館、東京大学などで梁祝故事を含む俗

文学の文献資料を調査したほか、『中国戯曲志』、『中国曲芸志』、『中国戯曲音楽集成』、『中国曲芸音楽集成』、『中国民間故事集成』、周静書『梁祝文化大観』の中から梁祝故事の記述を調査し、ジャンル・演目・上演（口述）地点などの基本情報を整理した。またこれらの書籍に掲載されている曲辞、越劇脚本、『梁祝宝巻』など一部の作品のテキストを入力、電子化した。

(2) 映像・画像資料の体系的な収集と整理

平成 27 年度から三年間中国へ現地調査に赴き、北京、上海、広州、寧波において映像資料（DVD・VCD）を購入・収集し、東洋文庫の協力を得ながら基本情報を整理して伝統芸能映像資料データベースの充実化をはかった。また上演されている演劇・講唱芸能の写真や俗文学の脚本などの写真についても整理を進め、金沢大学総合基盤メディアセンターの協力の下、横断検索が可能なデータベースを構築した（試行版のため 2018 年 3 月現在、金沢大学内限定で公開 <http://133.28.23.239/>）。

(3) 作品（文献・映像）の解読と考察

研究協力者の施盛凱氏の協力を得て関連する中国の地方劇・甬劇の整理を進め、「借妻」の校注、翻訳を作成した。

(4) 中国での梁祝故事の受容と民間信仰の実態調査

梁祝故事の発祥地とされる江蘇省の宜興、浙江省の杭州、上虞で梁祝遺跡の現地調査を実施し、梁祝信仰や伝承、物語について先行研究や地元の人間の口碑を照らし合わせ、遺跡の現状や変化について検証した。その結果、宜興、浙江杭州、上虞などの梁祝遺跡は中国の第一級無形文化遺産に認定されているが、将来的にユネスコの無形文化遺産リストへの登録を目指して各地方政府が開発・援助をおこなっており、どこでも遺跡の活用や観光化が進んで十年間で劇的に変化していることが明らかになった。

(5) まとめと成果発表

収集した文献資料や映像資料を総合的に分析し、伝播・分布に関する地図を作成した上で、広範囲にわたる物語の異同から、浙江省寧波で発生した物語が全国へ展開していった可能性が高いことが確かめられた。また、物語の主要な舞台がいずれも浙江であることから、浙江省紹興で誕生した越劇の演目に取り上げられ、1940 年代以降、越劇の秀逸な改編が功を奏したのみならず、中国映画の草創期から何度も映画化され東南アジアや台湾など海外にも輸出され好評を博したこと、中国共産党のお墨付きと支持を得て、1950 年代から東方の「ロミオとジュリエット」として世界にむけて情報発信されたこともあり、清朝から中華民国初期までは南中国のローカルな民間故事に過ぎなかったものが一気に中国の四大伝説乃至四大愛情物語へと破格の出世を遂げる過程とその背景、要因を明らかにしている。この成果の一部は、下記に

挙げた上田望「「梁山伯と祝英台」物語の文化空間」（西村聡編『言語文化の越境、接触による変容と普遍性に関する比較研究』、金沢大学人間社会学域人文学類、2017 年 1 月、pp45-54）、上田望「梁山伯祝英台物語の世界展開と越劇」（金沢大学人文学類公開研究会「演劇 民衆文化と芸術の境」、金沢大学、2018 年 3 月 15 日）として公表した。上記論考は中国民俗学会副会長の施愛東博士のレビューを受け、本研究経費を使用して中国語訳を作成し、中国の学術雑誌に投稿する予定である。

5. 主な発表論文等

（研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線）

〔雑誌論文〕(計 1 件)

上田 望 「「梁山伯と祝英台」物語の文化空間」、西村聡編『言語文化の越境、接触による変容と普遍性に関する比較研究』、金沢大学人文学類、査読無し、2017、45-54

〔学会発表〕(計 3 件)

上田 望 「梁山伯祝英台物語の世界展開と越劇」、金沢大学人文学類公開研究会「演劇 民衆文化と芸術の境」、金沢大学、2018

上田 望 「『昆曲』、『評弾』～姉妹都市蘇州の伝統芸能に触れる」、蘇州市寄贈図書読書会、金沢市海みらい図書館、2018

上田 望 「中国文学史」、金沢大学人文学類公開研究会「文学史は誰のものか」、金沢大学、2017

〔図書〕(計 0 件)

〔産業財産権〕

出願状況(計 0 件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
出願年月日：
国内外の別：

取得状況(計 0 件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
取得年月日：
国内外の別：

〔その他〕
ホームページ等
中国伝統芸能データベース（金沢大学内限定
公開 <http://133.28.23.239/>）

6. 研究組織

(1) 研究代表者

上田 望 (UEDA, Nozomu)

金沢大学・歴史言語文化学系・教授

研究者番号： 90293331

(2) 研究分担者

()

研究者番号：

(3) 連携研究者

()

研究者番号：

(4) 研究協力者

()